

目標達成計画

作成日: 平成 23 年 8 月 12 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念について 地域密着型の理念を作れていない。	理念に地域が密着したものを取り入れる。	ミーティングにて話し合い理念を取り入れたものに変更する。BS法にていろいろな意見を取り入れる。	1ヶ月
6	35	2F、4Fの災害対策についてのそれぞれの対応マニュアルを作っていない。避難経路など各フロアによって違うため。地域との協力体制を整える。自主訓練をもっと行う。	各階の避難マニュアルを作る。自主訓練の頻度を増やす。	避難訓練の実施前に近所のお宅へ訪問し、訓練に参加していただけるか確認する。地域との協力を重点において避難マニュアルを各階のものを作成する。	3ヶ月
3	40	食事に関して楽しい空間づくりができていない。職員と一緒にご飯を食べていない。利用者と職員が同じテーブルで食べれていない。	職員と一緒に食事をし楽しい空間づくりに心掛ける。職員と利用者の楽しい。食事の時間は必ず一人は職員がテーブルにつき一緒に食事をする。	まずは昼食から一緒に食事をする。10時のお茶、おやつ、も職員がそのこの場所でお茶を飲む。	1ヶ月

4	13	職員を育てる新人研修をする。オリエンテーションをする。認知症とは、グループホームとは、業務内容など。	新人研修のマニュアルを作る。	研修計画を立てる。新人が入社したら集中的な研修を実施する。研修をするために、認知症の利用者の対応、および認知症ケアに関するマニュアル。 利用者のプライバシー保護の取り組みに対するマニュアル。 身体拘束等の排除のための取り組みに関するマニュアル。 相談苦情対応に関するマニュアル 非常災害時の対応手順、役割分担のマニュアル。 感染症と食中毒の発生の予防及び蔓延の防止に関するマニュアル 介護事故防止対応マニュアルを作成していく	6ヶ月
5	6	身体拘束をしないケアの理解ができていない、そのためのマニュアルがない。	身体拘束について勉強し、身体拘束をしないケアをする。	身体拘束委員会を実施し、日々何が身体拘束につながるのかを考える。1か月に1回程度は行う。	3ヶ月
2	2	事業所と地域との付き合いがない。もっと地域との交流を作らなければならない。	地域との交流を深める。具体的には町内会の行事に参加し、地域にグループホームの存在をもっと知ってもらう。	近くの夏祭りに参加し、町内会の一員として交流を深めていく。運営推進会議に町内会長に来ていただく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。